

2024 年度 中部学生ヨット個人選手権大会

レース委員会が審問無しに課すペナルティー

SP：レース委員会が審問無しに課す標準ペナルティーは、以下のとおりとする。

12 ペナルティー方式

- 12.3 規則 44.1 に基づきペナルティーを履行した競技者は、大会 RRS.org の上部にある青色の+ボタンから申告しなければならない。

⇒指示 12.3 違反に対して、その違反のレースの得点に+3 点を加点する。
艇のレース得点は失格 (DSQ) より悪くなることはない。

14 安全に関する要件

- 14.2 その日の第 1 レースの艇の乗員は、出艇申告書がオープンされてから 9:30 までに申告書に第 1 レースのクルーとスキッパーのサインをする。
- 14.3 その日のレース終了後は、遅くとも指示 13.3 の抗議締切時刻までに、その日の最終レースの乗員が帰着申告書にサインを完了させなければならない。
- 14.4 出艇しない艇は、出艇申告受付時間内に、帆走指示書もしくは大会ホームページのリンク先に用意された「リタイア報告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。またその後出艇する場合は、出艇することを陸上本部に報告し許可を得なければならない。
- 14.5 レースからリタイアする艇は帰着後速やかに、帆走指示書もしくは大会ホームページのリンク先に用意された「リタイア報告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。レースからリタイアした艇は、コースを離れる前に、可能であればレース委員会艇、テクニカル委員会艇、またはプロテスト委員会艇にリタイアの意思を伝えなければならない。
その後すぐにトラブル等を解消し出艇する場合は、このタイミングでの帰着申告書、出艇申告書へのサインは不要とする。

⇒指示 14.2、14.3、14.4、14.5 の違反に対しては、以下のとおりとする。

1 回目の違反に対して、警告を与える。警告は公式掲示に掲示される。

2 回目の違反に対して、+3 点を加点する。

ペナルティーを与えるレースは、艇に対して、引き続きのレースが行われた場合には指示 14.2 の手続きの誤りについてはその直後のレースに、指示 14.3 の手続きの誤りについてはその直前のレースにペナルティーを課す。指示 16.4 の手続き誤りについては、リタイアから復帰した最初のレースに、指示 14.5 の手続き誤りについては、リタイアした直前のレースにペナルティーを課す。

艇のレース得点は失格 (DSQ) より悪くなることはない。

以上